

わたぼうしの変遷

昭和六十一年一月三十一日「家庭だより」
として利用者の家族を対象に第一号が発行さ
れました。当時はB4判用紙一枚に両面印刷
で手作りのものでしたが、家族の声の盛りだ
くさんに載せられていきました。当時の編集委
員から印刷の際、インクまみれになったと思
い出が語られました。

第七号からは印刷会社に発注し、B5判八
ページのものとなりました。初めての表紙の
写真は文化祭の演芸発表での皆さんでした。
いろいろ表情が見て取れました。

第八号から「わたぼうし」と名前を変え、
発送を利用者の家族に限らず、各関係機関に
広げました。途中、用紙サイズをB判からA
判に、写真を白黒からカラーに変更し、現在
に至ります。記事の内容は行事や旅行などの
楽しかった思い出や利用者一人ひとりの紹
介、作業や奉仕活動、交流活動など多岐にわ
たっています。三十年という長きに渡り、利
用者さんの生き生きとした表情を発信してき
ました。



わたぼうし最新号

家庭だより第一号

一年を振り返って

園生 杉山勝弘

今年一年は、いろいろな事がありました。中
でも一番大きな出来事は、I商店に職場実習に
出た事です。

ぼくは、高校卒業後に自衛隊に入隊しまし
た。病気になるやめることになりました。その
後父さんと工務店で働いたことがありますが、
それもやめて、その後白鳥ホームに来まし
た。それから五年が経ちましたが、まさか外に
出て働くとは思っていませんでした。久しぶ
りの仕事なので、不安もありましたが、いざ
行ってみると、店の人がとても優しく、いろ
いろと教えてくれ本当に助かりました。まだ、こ
の仕事をやって社会に出れる自信はありませ
ん。それにになにかもっと違う仕事もやってみ
たいと思っています。この職場実習が、これか
ら自分が社会に出るための訓練の一つだと思
って頑張っていきたいと思っています。
(家庭だより一号より抜粋)

第一号には、多くの利用者さんの投稿が掲載さ
れています。この記事を書いた杉山勝弘さんは今
は車椅子での生活ですが、機能訓練などを頑張り、
元気に過ごしています。



家庭だより第1号

わたぼうし第五十号

第50号表紙に使用された
花見の写真



節分・洋らんまつりの様子

わたぼうし第五十号は、平成十四年五月一日
に発行されました。
なんとページ数は今よりも多く、十ページに及
んで利用者さんの生活や行事の様子をお届けして
いました！

表紙には当時の花見の様子が掲載され、今と
は違い、外で花見を楽しむ利用者さんの様子が
写し出されています。

記事の内容は、行事の様子や、苦情受付の報
告、ホームのあれこれと題された日常の風景が
掲載されていました。